

徳島県南みどころ情報誌
阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町

四国 の右下

4月号

- 弥生時代前期 (1000-1000年前)
の生活基 (第1基)

特集
古代遺跡を訪ねる

深瀬遺跡 (阿南市深瀬町)



- ① 現地での説明会。縄文時代前期から同後・晩期にかけて5つの遺構面(人の生活痕跡を表す地面)が年代順に重なった状態で確認されました。
- ② 概要説明が終わると現場を移動。ちなみに深瀬遺跡は那賀川の中流左岸、標高約25mの河岸段丘上に位置しています。
- ③ 説明会ではまず「なぜここを掘ることになったのか?」から分かりやすく概要説明してくれます。
- ④ 弥生時代前期(約2200年前)頃の石器工房とみられる竪穴住居跡。直径約3mの円形の床面には石器を作ったときの削り屑(サヌカイトやチャートのかけら)が大量に出土。
- ⑤ 地表面から約60m下の第1遺構面(鎌倉時代・約800年前)では、有力者が用いた京都系土師皿(はじざら)という土器が出土。県内でも数少ない土器です。
- ⑥ 第4遺構面から鷹島式土器(縄文時代中期・約5000年前)、第5遺構面から大歳山式土器(縄文時代前期・約6000年前)が確認されました。

深瀬遺跡発掘担当者の一人で現地
で解説を務めた公益財団法人徳島
県埋蔵文化財センターの島田豊彰
主任研究員。現在、河川改修に伴
う発掘調査のため、遺跡は埋め戻
されており、写真の遺構面は見る
ことが出来ません。しかし、まだ
深瀬遺跡には調査区域が残って
おり将来的にまた発掘するそう
です。現地説明会の日程は公益財
団法人徳島県埋蔵文化財センター
HPを要チェック!
<http://www.tokushima-maibun.net/>



2月5日、調査成果を公開する現地説
明会には300人以上が訪れ、発掘担
当者による解説に熱心に耳を傾けま
した。なんと、今回調査の結果、縄文
、弥生、古墳、平安、鎌倉時代と複数
の時代にまたがる遺跡であることが判
明。これは那賀川流域では初めてとい
う大きな発見があったのです。

深瀬遺跡現地説明会
22年11月1日から23年3月末まで行
われた深瀬遺跡(阿南市深瀬町)の発
掘調査は、那賀川流域で実施された
ものとして古屋岩陰遺跡(那賀町古
屋・縄文時代早期)、若杉山遺跡(阿
南市水井町・弥生時代終末〜古墳
時代初頭)、上大野遺跡(阿南市上
大野町・弥生時代中期)に次いで4
例目。

古代遺跡を 訪ねる

特集

四季のギャラリー	四国の右下ter	地元LOVE	モノクロベディア	ぶらり旅風景	縄文から古墳時代の現場
.....
p14	p12	p11	p10	p6	p2
	p13			p9	p5

王子山古墳群 (阿南市日開野町王子山)

阿南市スポーツ総合センターへ向かう国道55号阿南バイパスの交差点。南東側に立つ皇子神社の背後にある王子山(標高約36m)の尾根伝いに3基の円墳を見つけることができます。現地の説明看板によると築造時期は6~7世紀で古墳時代後期とのこと。阿南市の史跡文化財に指定されています。



▲王子農村公園隣の駐車場から「古墳群」の看板を目印に登るとすぐそこ。



▲山上は樹木が生い茂っていますが、散策路が整備されているので迷うことはありません。

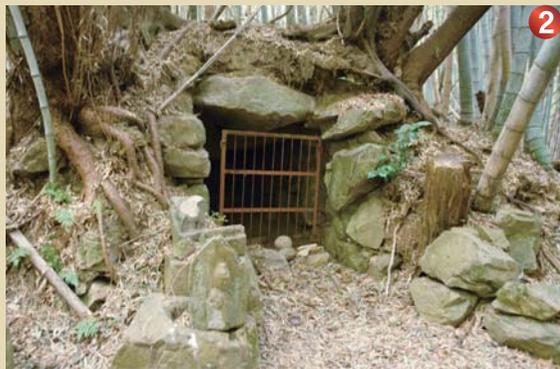
▲横穴式石室であることが判明している一号墳、二号墳。封土に覆われている三号墳も横穴式石室であると推定されています。

能路寺山古墳群 (阿南市羽ノ浦町宮倉)

古来4カ所の古墳があった能路寺山古墳群。現存する一号墳は眼下に宮倉の農耕地帯を望む丘陵の北端標高約20mのところにあります。砂岩の横穴式石室を持つこの墳墓、封土が流失していますが直径約10m、高さ3mの円墳と考えられ築造時期は6世紀末から7世紀初めと推定されています。



▲阿南市指定史跡文化財です。

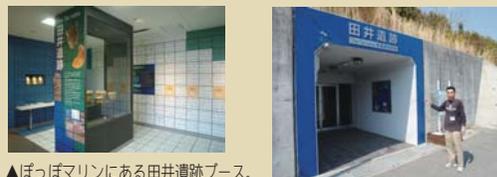


▲能路寺の裏山、竹林の中にとたえず四国八十八カ所石仏を辿っていくとあります。

▲石室の全長約5.1m、羨道(せんどう)の長さ約2.3m、幅約1.2m、高さ約1.4m。

田井遺跡 (海部郡美波町田井)

平成13年、日和佐道路の建設に伴う調査で発見。田井遺跡保存・活用検討協議会などの尽力により発掘調査地の一部分が保存され昨年4月に開館。普段は施錠されているので見学希望の際は、ぽっぽマリ2F郷土資料展示室(☎0884-78-2933)、又は由岐公民館(☎0884-78-0007 9~16時(火曜休館))へ事前に電話もしくは訪ねると係の人が解錠してくれます。



5 ▲ぽっぽマリにある田井遺跡ブース。



▲案内していただいた由岐公民館の見原さん。

▲縄文時代前期末から中期初頭にかけての石器や縄文土器片が見つかった発掘調査地。

四国の右下 古代遺跡マップ



大里古墳 (海部郡海陽町大里)

徳島県史跡指定第一号である大里古墳(大里2号墳)は横穴式石室をもつ巨石墳。石室は全長11.2m、羨道(せんどう)の長さ5.5m、棺を安置する玄室の長さ5.7m、高さ2.3mあります。築造時期は6世紀末で海部川地方一帯を掌握した首長クラスの人物の墓で約1400年前の築造時は推定高4~5m、直径約20mの円墳で墳丘の周囲に濠をめぐらしていたそうです。



▲墳丘土が流失し天井石が露出。



▲海陽町立博物館(☎0884-73-4080)にある築造当時の姿を再現した1/20サイズの復元模型。

▲復元模型の横にあるのが実物から型取りし製作した原寸大の石室ジオラマ。中へ入ると古墳築造の物語が聞けます。

5 観音山古墳

(阿南市羽ノ浦町中庄)

拳正寺境内にある如意輪閣の中に横穴式石室が見えます。

6 国高山古墳

(阿南市内原町)

現在、県南部で確認されている唯一の前方後円墳(全長約50m)。

7 若杉山古墳

(阿南市水井町)

弥生時代末期から古墳時代初めの辰砂(朱の原料)の採掘・砕石遺跡。

J R由岐駅=ぼっぼマリンです

『ぼっぼマリン』の愛称で親しまれているJR由岐駅。1Fに切符売場がある他に円形水槽、ふれあい水槽、特産品展示即売ぼっぼ物産館、2Fには郷土資料展示室(無料)、ギャラリーなどがある複合施設で由岐の玄関口として活用されています。



▲毎年秋に開催される伊勢エビまつりで登場する伊勢エビ型お神輿も展示。

ぼっぼ物産館

☎ 0884-78-2323
住 海部郡美波町西の地東地73-3
営 8:00~18:00 休 火曜



東由岐のミニ西国三十三ヶ所、西由岐は…

安政年間(1855年頃)、東由岐の愛宕山に西国三十三番の観音石仏像を勧請したと伝わるミニ西国三十三ヶ所。遊歩道の距離は1505mあり、途中に展望台もあります。一方、向かいの西由岐にはミニ四国八十八カ所があります。



▲由岐漁港の西側にある阿波沖海戦小公園は翔鳳丸乗組員上陸の地。開陽丸が海戦で使用した大砲が原寸大に復元し設置。

慶応四年一月四日のことじゃった

榎本武揚が駆る幕府海軍旗艦「開陽丸」と薩摩藩軍艦「春日丸」が由岐沖にて展開した「阿波沖海戦」は、日本史上初の洋式軍艦による近代的な海戦です。「春日丸」に随航していた輸送船「翔鳳丸」は由岐港内へ逃げ込み笠野島(ぬのしま)の島影で自爆。薩摩藩士乗組員は陸、海に分かれ土佐へ逃れました。



▲ぼっぼマリン2F郷土資料展示室には翔鳳丸遺品が展示されています。



▲神社に受け継がれているうちわ踊りは県指定無形民俗文化財です。



昔は由岐七浦の総鎮守だった八幡さん

京都の石清水八幡宮の分霊を祀ると伝わる西由岐の八幡神社。天正年中より伊座利、阿部、志和岐、由宇、東由岐、西の地、西由岐の七浦の総鎮守でした。祭礼時に左右両座に立てる二本の「おはげさん(御幣)」は古くから伝わる由緒深い祭事です。



住 海部郡美波町西由岐

▲城山へ登る途中にある戎さん。

四国の右下 ぶらり 旅風景

美波町 由岐地区

東西約14km、南北はわずか1.7km!太平洋に面して細長く伸びる海岸線沿いに東から伊座利・阿部・志和岐・東由岐・西の地・西由岐・田井・木岐の8つの集落で構成されている美波町・由岐地区。中世の『太平記』にもその名が登場する由岐港をはじめ天然のリアス式海岸を利用した5つの港が並ぶ漁師町は、古来より海と共に歩みながら各々が個性豊かな歴史と文化を育んでいます。



ぼっぼマリン外観



由岐の歴史を知るならココ!

ぼっぼマリン2Fにある郷土資料展示室は必見。わかめやかんぶを大きな籠に入れて頭にのせ全国を行商した「阿波のいただきさん」、九州の漁場を開拓した石垣弥太郎など様々なバイオニア達を紹介。そのうちの一人、志和岐の楠本勇吉が明治35年に渡ったのが岩手県大船渡。そこで彼は地元漁師達に“てんでん釣り”という漁法を教え気仙沿岸漁業の発展に大きな足跡をのこし、当地にて功労記念碑が建立、さらには大船渡市の小学校社会科副読本でも紹介記載されたそうです。



米国大統領から感謝の銀のメダル

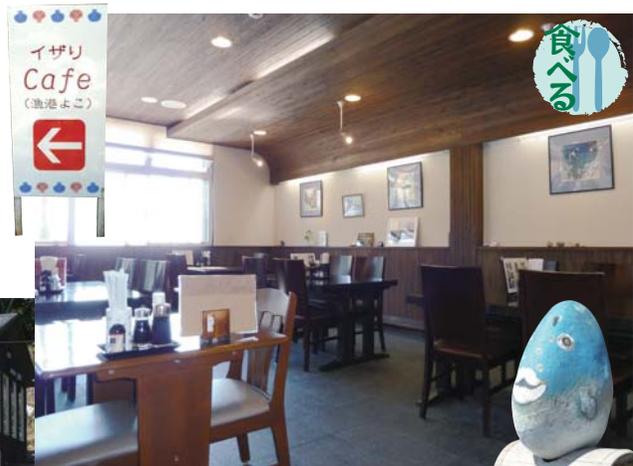
明治25年7月23日未明、アメリカの貨物船が暴風雨に巻き込まれ、志和岐田井ヶ浦で座礁。志和岐の住民は総出で決死の救出作業にあたり乗組員22人全員を救助。勇気ある行動が称えられ当時のベンジャミン・ハリソン米大統領から住民に金一封と銀のメダルが贈られました。

☎ 海部郡美波町志和岐

◀ 志和岐漁港内にあるノースアメリカン号遭難救助の碑。



▲ 当時の様子を記録した「米国船救助之記」やメダルと賞状は、ぼっぼマリン2F郷土資料展示室にあります。



ジャズが流れる「イザリCafe」

漁師のおばちゃん達が運営する『イザリCafe』。伊座利沖でその日の朝に揚がった新鮮な海を使った刺身定食と天ぷら定食が人気で、遠くからもリピーターが訪れています。店内では絵本作家 梅田俊作氏による絵画ギャラリーが開催中です。

イザリCafe

☎ 0884-78-1186 ☎ 海部郡美波町伊座利

営 10:00～17:00 (17:00前に閉店することもあるので事前に問い合わせを)

休 月曜(行事等で不定の休みあり) HP <http://www.izarijin.jp/>



▲ 水的美しさは西日本一の田井ノ浜



▶ 木岐の浜に車を停め満石神社へ歩いていく途中にあります。

“いぼ取りの霊水”として有名

あらゆる皮膚病、特に“いぼ取り”に霊験あらたかで「いぼ神様」の異名で広く信仰を集めている満石神社。その評判は近郷近在はもとより遠く阪神、九州まで語り草になっているほどです。4月29日に満石大権現大祭が行われます。 ☎ 海部郡美波町木岐

阿波八景の一つにも数えられる名勝地

室戸阿南海岸国定公園内の小さな入り江に約1.5kmの砂浜が続く田井ノ浜。遠浅で波も穏やか、全国でも屈指の水質を誇り環境省選定の海水浴場百選の一つに選ばれている。夏には多くの海水浴客で賑わいます。

☎ 海部郡美波町田井



▲ 7月下旬～8月上旬にはJR四国、田井ノ浜駅が開設され、下車すると、すぐ太平洋での海水浴が楽しめます。

明治34年に木岐で生まれた大書道家

他の追従を許さない独自の作風を確立した小坂奇石先生。昭和56年、書道家として初めて日本芸術院賞恩賜賞を受賞し、日本書道界における最高峰と仰がれました。平成18年、先生の功績を末永く讃えるために建立された碑は、生まれ故郷の木岐に屹(きつ)然と立っています。

☎ 海部郡美波町木岐



▲ ゆっくり休憩できるベンチを備えた東屋もあります。

絶壁上の台地にある潮吹展望台

志和岐漁港から東へ約800mにある岩礁。二つの奇岩からなる潮吹岩は径約7m、長さ100m余りの洞窟が南北に貫通。満潮時に波がよせると大音響と共に海水を最大約30m余り吹き上げることもあります。

☎ 海部郡美波町志和岐

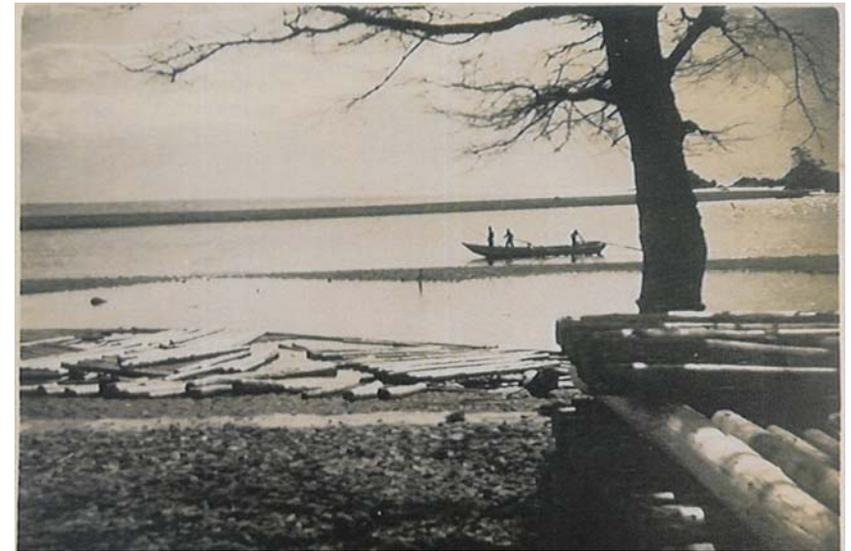


◀ 境内には摩訶不思議な由来がある雪見八幡さんが祀られています。



▲ 300年程前、この地の網元が田井ノ浜にて地曳網を操業中入った小石が霊水のことの始まり。

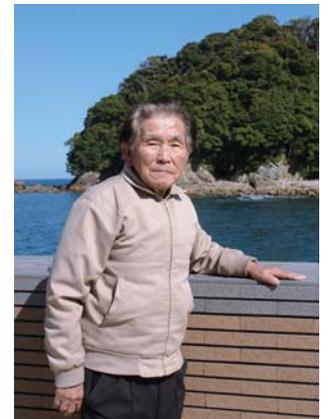
第8回 鞆奥(ともおく)漁港 (海陽町)



海陽町立博物館蔵

「真ん中の舟は高瀬やな。左上あるのは小島(こしま)。こんまいほう見えとる。手前は筏の丸太やな。奥から筏に乗ってきてな、木が集まったら今度は沖高瀬で積み込む。船の幅ぐらいの筏組んで漕いでな、三列もいっきよったかわからん。短い一間モンは船に積んみよったな。(乗せ替える運搬船は?) 私の小さいとき見たんは機帆船。ほれから(その後) こっちより那佐にあんじょう大きい置き場出来たけん、那佐で積むようになったけどな。ほんで高瀬やは、いらんようになった。」

現在の鞆浦漁業協同組合がある辺りから撮影されたと思われるこの写真、高瀬舟の上に左右に走るのは実は砂浜。「むかえ」いうて河原がずっとあったんじよ。大里の松原からずーっと砂浜が続いとったんじよ。今は川になって切とるけどな、手倉のハナへんまで続いとんじよ。昔の人は浜が一里もあるって言よったわ。」



須藤三郎さん

▲大正13年生まれの86歳。生まれも育ちも鞆浦。14歳から父親の元で修行し、5年前に引退するまで船大工一筋の職人さん。戦前から昭和40年代まで沖高瀬をはじめ小舟の網船から機帆船まで様々な木造船を手掛けた須藤さん。「西洋型と和船の間のやつをようけ造ったな。」

「このギャラリーの建物、駕籠が生まれた同年(天保6年)に建てた廻船問屋の屋敷をお借りして使用しています。4/29～5/16(10～17時、入場料200円)まで遍路歩記写真日記展開催しますのでぜひご来場下さいませ!
(勝瑞高春さん)



木岐夢ギャラリー
☎ 0884-78-0031
住 海部郡美波町木岐366
HP <http://web.me.com/bluepage/kiki/>

一つ一つの句に物語があるんです

書道家の小坂奇石や農民作家・悦田喜和雄などの文人墨客、「神代復古誓願運動」の浜名猪代太や女性民権運動家の中林ナカなど開明的で進取の気性に富む人物を輩出した木岐。美波町へと合併する前の『由岐町史上巻地域編』に次のような記述があります。―木岐には古くから若い人々の間で特異な見方をされてきたグループがあった。人呼んで「僕組」と呼んでいた。(中略)とかく清純な気持ちで、時代の先駆者として積極的に活動していた。―。時代が昭和になる頃には自然と影をひそめた「僕組」。しかし、清心で文化を愛する気風は今も連綿と受け継がれています。平成19

年7月、スタートした『木岐夢ギャラリー』はそのひとつです。地元木岐住民の作品展などをはじめ地域間の文化交流の場として活用されている民間ギャラリーは、同時にユニークな試みを展開しています。それは木岐の白浜を起点に約1kmに及ぶ旧土佐街道の遍路道に句碑を設置していく「俳句の小径」。「こゝに一緒に俳句小径を作りましょう」と町内5カ所に設けた投句箱で句を募集。回収した後に特撰句・入選作句を決めて遍路道に句碑を立てていくというもの。平成21年8月に最初の句碑を設置してから現在までに50本。歩き遍路さんの中で口コミで広がり、木岐を歩くことを楽しみにしている方々が増えています。

地元 LOVE

四国の右下に暮らし、地元を愛する人やグループを紹介

第7回

木岐夢ギャラリー俳句の小径係のみなさん



▲地元の方はもちろん全国各地から来られたお遍路さんから投句が寄せられる【俳句の小径】。「ここでの投句がきっかけとなって俳句三昧の方や、句碑の設置をきっかけにまるで親戚付き合いのようになる方も多いですよ」と代表の勝瑞高春さん。



四国の右下とは、徳島県南部(阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町)のことで。



清流那賀川に鯉のぼり約600匹!

加茂谷鯉まつり 日時:5/3 10時~雨天順延 場所:阿南市那賀川中央橋上流河川敷 市内から集まった鯉のぼりが那賀川上空にたなびく中、模擬店が並ぶほか、カンドリ船で那賀川遊覧や宝探し、ミニSL、トロロコ車、もち投げなど催しがいっぱい。お問い合わせ:加茂谷公民館☎0884-25-0113まで。



目玉は『アメゴのつかみ取り』!!

美那川キャンプ村まつり 日時:5/1 場所:那賀町木頭折宇 美那川キャンプ村 清流・南川に放流された「あめご」のつかみ取り、あめごつり、宝さがし等、大自然の中で大人も子供も楽しめるイベントです。ご家族総出でお越しください♪お問い合わせ:那賀町役場木頭支所☎0884-68-2311まで。



牟岐青空市で新鮮食材を買おう!

開催日:毎週水・日曜日 開催時間:水曜日 15:30~17:00 日曜日 7:45~10:00 場所:牟岐町中村JAかいふ本所前 開店時にシキミ、花類から販売し、次に野菜、加工品が販売される。(水曜日には干物も販売)お寿司、餅、漬物、味噌、こんにゃく、総菜類が出品され品揃えが豊富。お問い合わせ:☎0884-72-3511まで。



竹ヶ島神社祭開催!

日時:5/17・18 場所:海陽町穴喰浦竹ヶ島 県下のトップを切って行われる夏祭り、海中に入る暴れ神輿が有名。宵宮には、子供神輿、夜店、奉納花火がある。祭りに合わせてマグ口船6隻が帰港し、大漁旗を掲げて祭りを盛り上げる。お問い合わせ:海陽町観光協会☎0884-76-3050まで。



参加者にカレッタ特製グッズプレゼント!

カレッタこどもの日特別イベント 日時:5/5 場所:日和佐うみがめ博物館「カレッタ」 当日、小学生以下入場無料。子ガメの体重当てクイズやカメ・かめクイズでうみがめと友達になるう! 正解者や点数に応じてステキなプレゼントも用意。(参加無料)お問い合わせ:☎0884-77-1110まで。

「野球のまち阿南」公式サイトオープン!

アグリあなんスタジアム情報・有名野球選手の野球グッズなどを紹介・野球のまちイベント・野球観光ツアー情報など熱い情報をお届け!

PC・モバイル <http://baseball.city.anan.tokushima.jp>



ナイスショット! こども写真展

期間: 4/29~5/5 対象:小学生以下(カメラマン) 携帯電話のカメラで撮影したWaンダーランドの写真を募集します。応募作品から優秀作品を決定。被写体は何でもOK! 但し、「子供カメラマンによるWaンダーランドで撮影した写真のみ」です。お問い合わせ: Jパワー & よんでんWaンダーランド☎0884-34-3251まで。

四国の右下ter

阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町発信のニュースやお知らせ、イベント情報などをお届けします。

被災地の皆様への支援にご協力をお願いします

全般・総合窓口	危機管理政策課	088-621-2708	平日・休日 9:00~19:00
東京における相談窓口	徳島県東京事務所	03-5212-9022	平日 9:00~19:00
災害ボランティアに関する相談	県立防災センター	088-683-2100	平日・休日 9:00~18:00

徳島県の義援金受付口座 (受付期限 9月30日)

- 阿波銀行県庁支店 普通預金 1634069 東北地方太平洋沖地震義援金 徳島県知事
 - 徳島銀行県庁支店 普通預金 8509125 東北地方太平洋沖地震義援金 徳島県知事
- ※同一銀行間の窓口からの振込手数料は免除

義援金の
お問い合わせ先 徳島県地域福祉課 ☎088-621-2171 9:00~18:00 (土曜日・日曜日・祭日を除く)

地下足袋 TURUGI Trail Running Race 王子杯 in NAKA 2011

開催日時 **2011年5月14日(土)**
am 8:30スタート(予定)

申込方法 インターネット・FAX

申込締切 2011年4月30日

開催場所 徳島県那賀郡那賀町

距離 約40km

参加定員 200人

参加費 6,000円/人

参加資格
・15歳以上の健康な男女。
(18歳以下は保護者の承認印が必要)
・自己責任で完走できる自信がある方

表彰
・男女各1位~3位
・地下足袋王子賞1名(敢闘賞)
・鏑木毅賞(敢闘賞)
・その他特別賞

後夜祭
2011年5月14日 18時30分~
(会場:四季美谷温泉)
参加費 2,000円
※別途、申込と参加費が必要となります

鏑木 毅「槍戸アルプス」 トレイルランニングツアー



■とき 2011年5月15日 7時~
■参加費 5,000円
※別途、申込と参加費が必要となります

ゲスト: 鏑木 毅
(トレイルランナー)

【主催】 那賀トレイルランニングレース実行委員会(徳島県南部総合県民局、那賀町、那賀町観光協会、四季美谷温泉、クーランマラン人力旅行社)
【後援】 徳島新聞社、NHK徳島放送局、四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島、株式会社あわわ
【特別協力】 NPO法人 剣山クラブ、徳島県山岳連盟

■お問い合わせ クーランマラン人力旅行社
☎050-5536-8717/FAX:0884-74-7802/mail@courant-marin.jp

徳島県南から、高知県境にかけての地域を「四国の右下」と呼んでいます。この情報誌は、「四国の右下」のすばらしい魅力を多くの方に知っていただくために発行します。情報、ご意見等がございましたら、ご連絡ください。

徳島県南部総合県民局 企画振興部 総務担当
☎0884-24-4112
〒774-0030 徳島県阿南市富岡町あ王谷46

四季のギャラリー

今月から、阿南市在住のイラストレーター、羽尻利門さんの作品を季節ごとにお届けすることになりました。春夏秋冬四季折々に合わせて羽尻さんが描く県南の風景は、どこか懐かしく、優しい気持ちを思い出させてくれます。



「今日から一年生」

桜の季節です。ちょっぴり不安な子どもの表情は、笑顔と同じくらい可愛いですね。この絵のモデルは、阿南市富岡町の国道沿いにあります。さて、どこだかわかりますか？

は じ り と し か ど
羽尻利門
(イラストレーター)

■プロフィール
1980年 兵庫県出石郡(旧)生まれ。2歳の時、京都市南区へ移住。大学時代からカメラ片手に京都市内や滋賀、奈良の里山を自転車や徒歩でめぐり、様々な景色を取材する中で絵画の創作を行ってきた。第7回インターナショナル・イラストレーションコンペティション優秀賞他、受賞歴多数。

羽尻利門さんの作品を南部総合県民局阿南庁舎1階「県民ギャラリー」で展示中です。こちらも是非ご覧ください。

拝宮農村舞台

舞台を取り囲む木々の緑
谷川を流れる水のせせらぎ
澄みきった空と空気

心を癒す自然の中で至福の
ひとときをお過ごしください。

日時 5月22日(日)
午後1時開演

場所 白人神社境内
那賀郡那賀町拝宮字白人谷1

◆問い合わせ

那賀町教育委員会上那賀分室
拝宮谷農村舞台保存会

☎0884-66-0111
☎0884-66-0834

「四国の右下」のバックナンバーは、徳島県ホームページでご覧いただけます。
<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010101900077/>